

小規模企業景気動向調査 [2024年11月期調査]

～製造業を中心として、小幅ながらも改善傾向が見え始めた小規模企業景況～

＜産業全体＞

11月期の産業全体の景況は、売上額・業況DIが小幅に上昇し、採算・資金繰りDIはわずかに上昇した。多くの業種において、行楽シーズンや年末に向けた需要増加による好影響が見受けられた。また、前年同月比で、採算・資金繰りDIが改善しており、少しずつ価格転嫁が進められている状況が窺える。一方で、コスト高、人手不足等の長期課題に関するコメントは継続して多いため、今後も注視していく必要がある。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		43	75	32
採算	▲	166	▲154	12
資金繰り	▲	141	▲129	12
業況	▲	132	▲109	23

＜製造業(食料品、繊維、機械・金属)＞全業種において受注の回復が見られた製造業

製造業は、売上額DIが大幅に上昇し、採算・資金繰り・業況DIは小幅に上昇した。

食料品、繊維、機械・金属関連の全業種において、全DIが上昇した。特に、観光業の好影響を大きく受けた食料品関連と、自動車、半導体関連の需要が堅調であった機械・金属関連が大きくDIを上昇させた。また、繊維関連は、物価高による買い控えや人手不足に苦慮しており、取引件数はなんとか維持しているとのコメントが多く見られたが、低下したDIはなかった。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		40	104	64
採算	▲	196	▲152	44
資金繰り	▲	164	▲118	46
業況	▲	158	▲113	45

＜建設業＞売上の改善傾向が継続する中、採算性・資金繰りの悪化に苦しむ建設業

建設業は、売上額DIが小幅に上昇、業況DIがわずかに上昇し、採算・資金繰りDIはわずかに低下した。例年同様、降雪前および年末に向けた工事受注が堅調で、売上額については好調とのコメントが多かった。一方で、仕入単価の高騰・最低賃金の引上げに伴う採算性の悪化、人手不足による工期の遅れに伴う資金繰りの悪化についてのコメントも継続して多く、DIに反映された状況である。仕入単価等と比較して、人件費の増加に伴う価格交渉は難しい傾向があるとのコメントがあり、要因にかかわらず適正な価格交渉ができる環境の整備が求められている。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		113	134	21
採算	▲	132	▲143	▲1.1
資金繰り	▲	119	▲132	▲1.3
業況	▲	99	▲88	1.1

＜小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)＞全DIが改善し、3ヶ月前の水準に近付いた小売業

小売業は、売上額・採算・資金繰りDIがわずかに上昇し、業況DIが小幅に上昇した。

衣料品関連は、前年と同様に秋物の動きは鈍かったが、急激な気温低下から冬物の売れ行きが伸び始めたことで、全DIが上昇した。食料品関連も低下したDIはなく、地域行事やイベントの需要を取り込んでいるかが重要な要素となっている。耐久消費財関連は、自動車販売が好調とのコメントがあり、売上額DIがプラス値に転じた。

	DI	10月	11月	前月比
売上額	▲	24	▲12	12
採算	▲	225	▲21.1	14
資金繰り	▲	189	▲17.6	13
業況	▲	202	▲18.1	21

＜サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)＞全DIが改善するも、停滞感が継続するサービス業

サービス業は、売上額DIが小幅に上昇し、採算・資金繰り・業況DIはわずかに上昇した。旅館関連は、採算DIが低下した。好調な観光地とそれ以外での格差が大きい状況である。クリーニング関連は、前月から一転して全DIが上昇した。各種地域行事の再開、旅行・外出機会の増加に伴う衣替え需要の増加が主な要因である。理・美容関連は、採算・資金繰り・業況DIが低下した。新規顧客の獲得が難しい中、低価格帯の大手への顧客流出を防ぐ手立てが継続して求められている。

	DI	10月	11月	前月比
売上額		4.2	7.4	32
採算	▲	11.1	▲11.0	0.1
資金繰り	▲	9.3	▲8.7	0.6
業況	▲	7.0	▲5.7	1.3

調査概要

・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：232/回答率76.6%)

・調査時点：2024年11月末

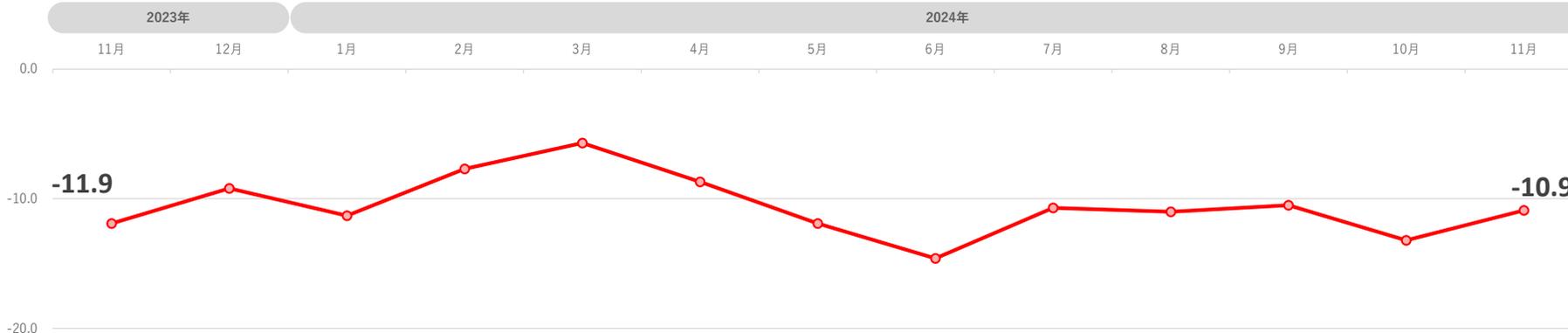
・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～



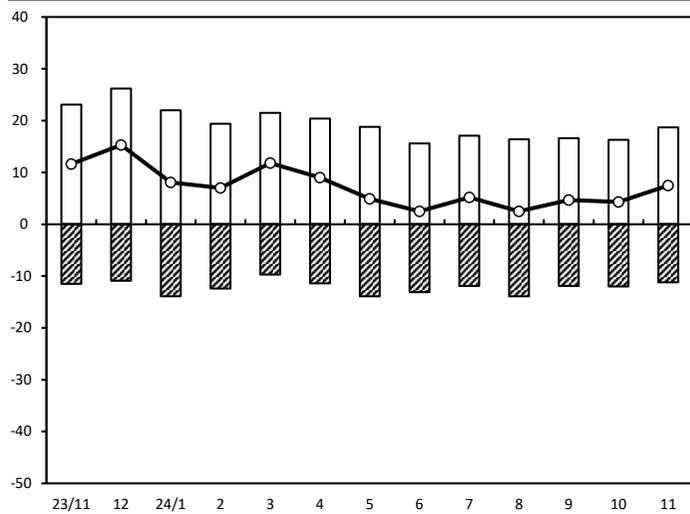
産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



小規模企業景気動向調査(2024年11月期)

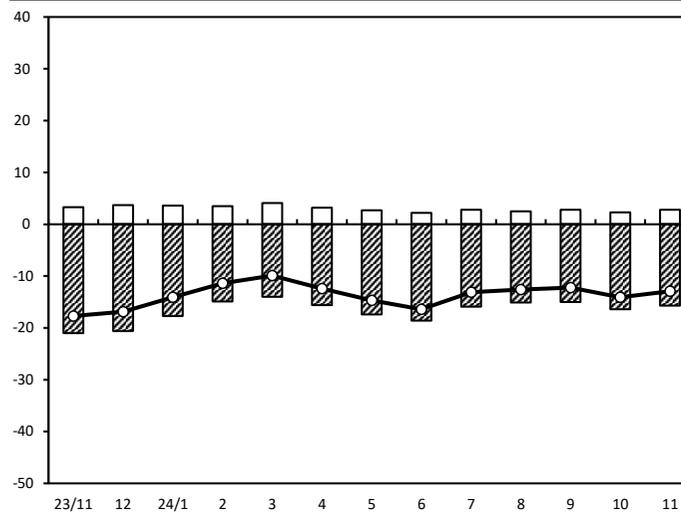
産業全体(前年同月比)

売上額



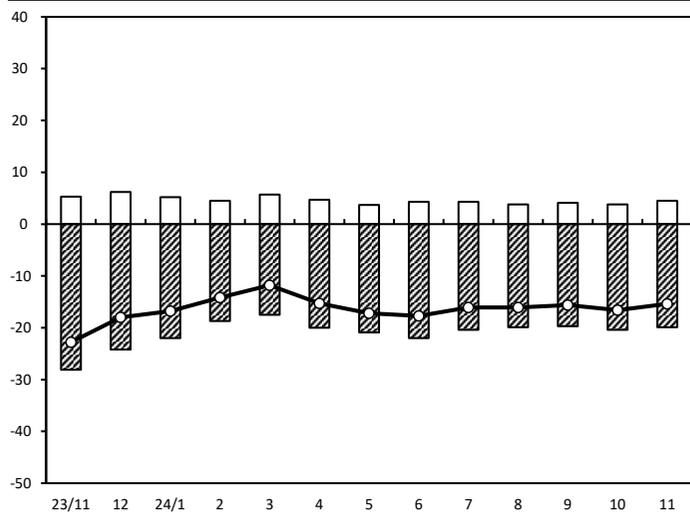
(年月)

資金繰り



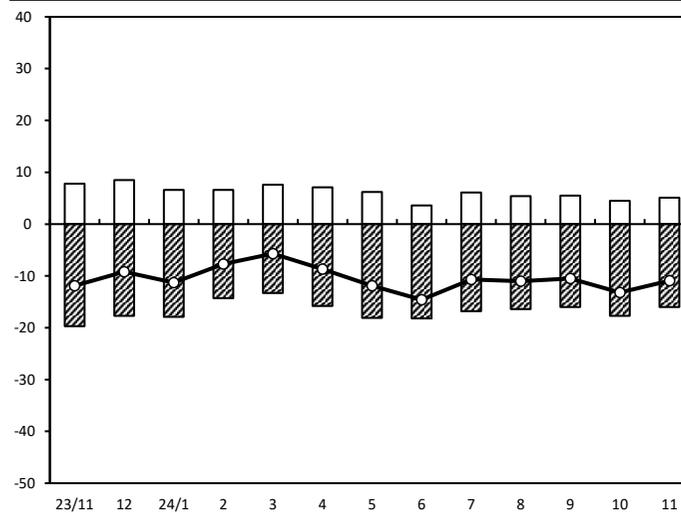
(年月)

採算



(年月)

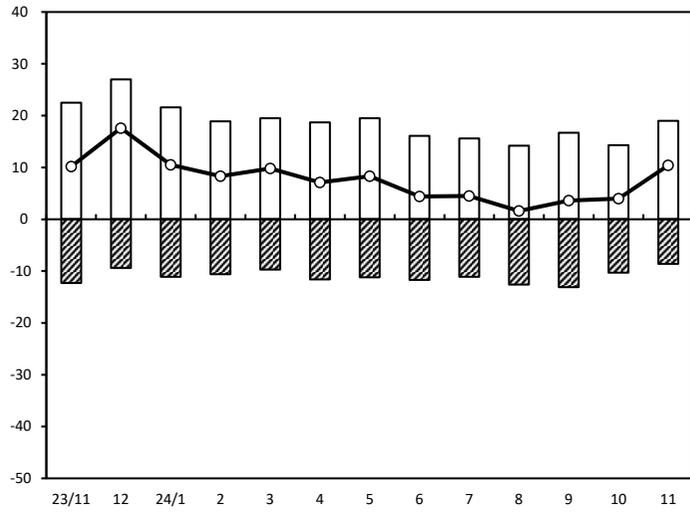
業界の業況



(年月)

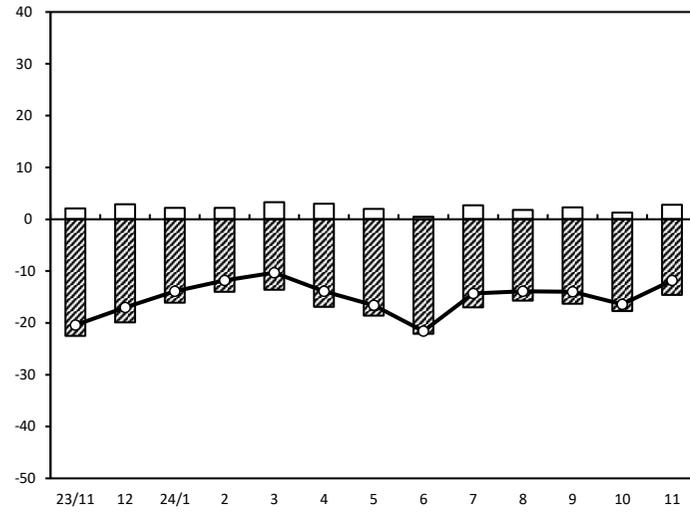
製 造 業(前年同月比)

売上額



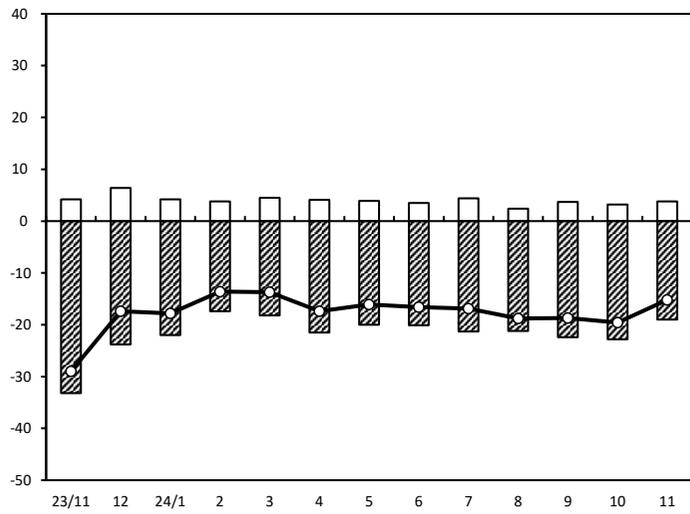
(年月)

資金繰り



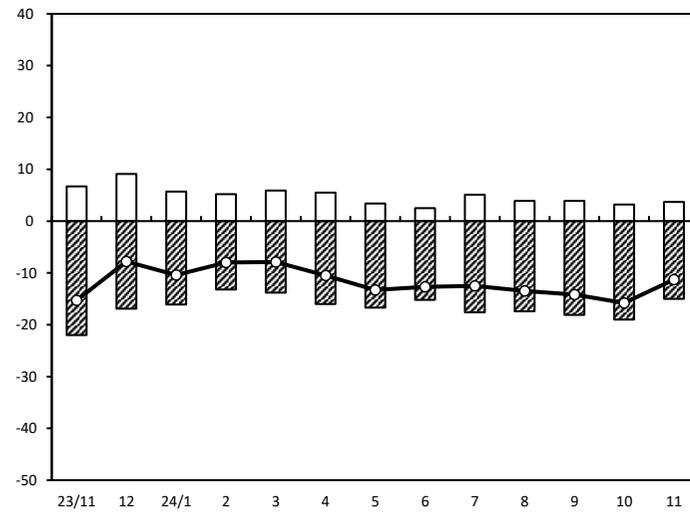
(年月)

採算



(年月)

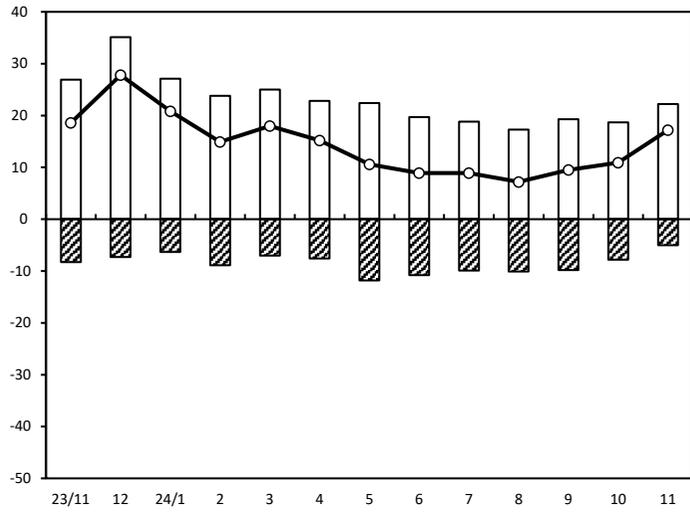
業界の業況



(年月)

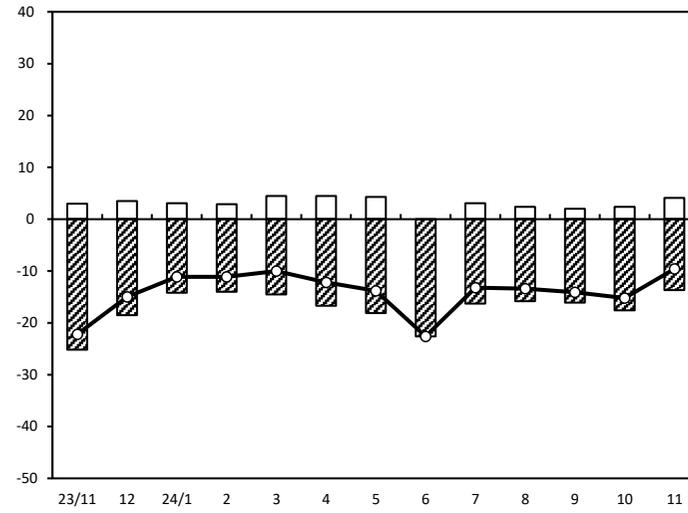
製 造 業 【食料品】（前年同月比）

売上額



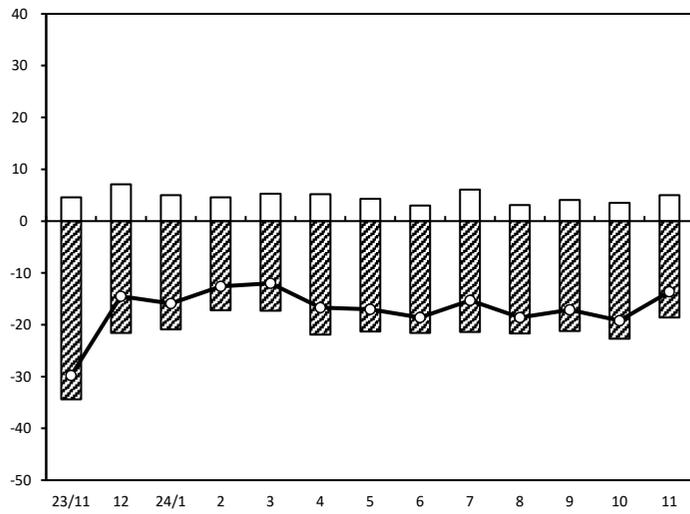
(年月)

資金繰り



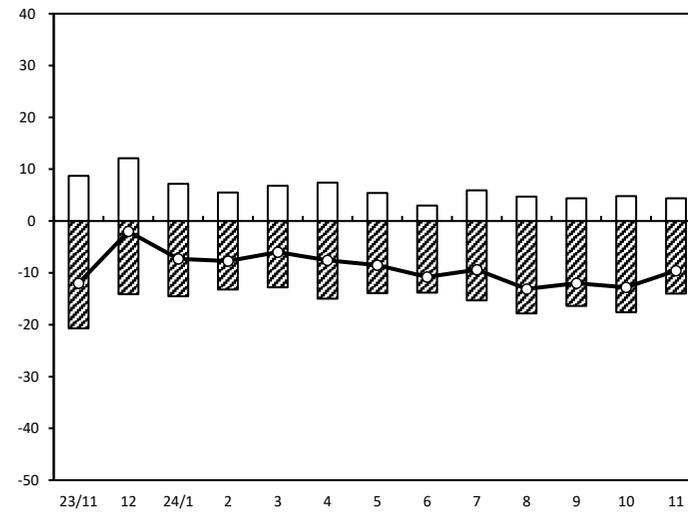
(年月)

採算



(年月)

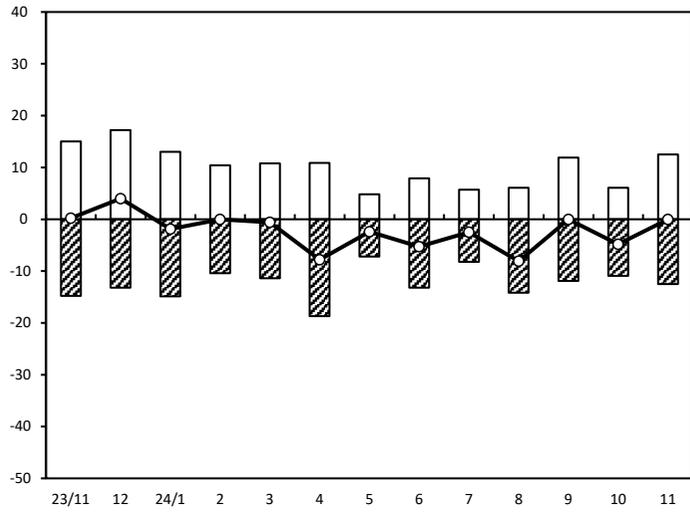
業界の業況



(年月)

製 造 業【繊維】（前年同月比）

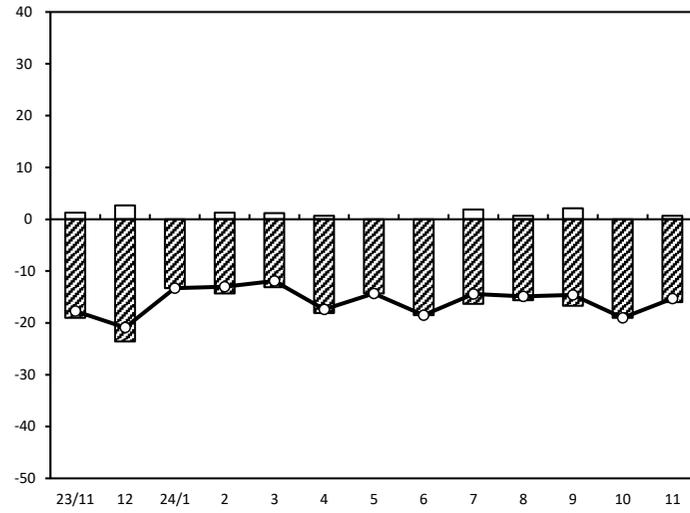
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/11	15.0	-14.8	0.2
12	17.2	-13.2	4.0
24/1	13.0	-14.9	-1.9
2	10.4	-10.4	0.0
3	10.8	-11.4	-0.6
4	10.9	-18.7	-7.8
5	4.8	-7.2	-2.4
6	7.9	-13.2	-5.3
7	5.7	-8.2	-2.5
8	6.1	-14.2	-8.1
9	11.9	-11.9	0.0
10	6.1	-10.9	-4.8
11	12.5	-12.5	0.0

(年月)

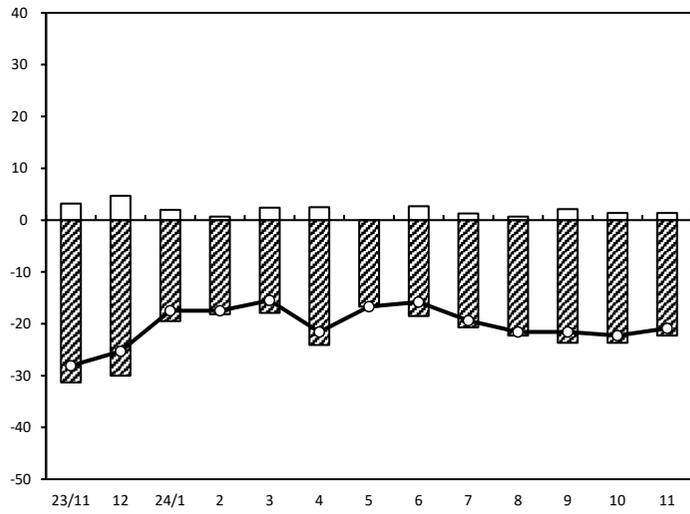
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/11	1.3	-19.0	-17.7
12	2.7	-23.6	-20.9
24/1	0.0	-13.3	-13.3
2	1.3	-14.3	-13.0
3	1.2	-13.1	-11.9
4	0.7	-18.1	-17.4
5	0.0	-14.3	-14.3
6	0.0	-18.5	-18.5
7	1.9	-16.3	-14.4
8	0.7	-15.6	-14.9
9	2.1	-16.7	-14.6
10	0.0	-19.0	-19.0
11	0.7	-16.0	-15.3

(年月)

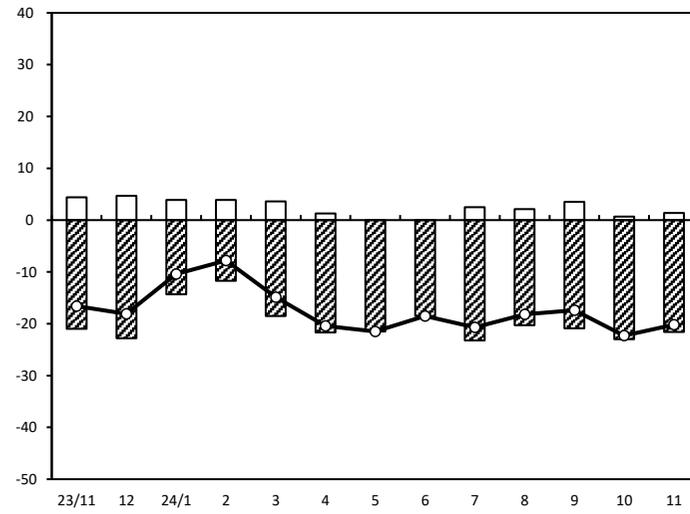
採算



年/月	増加	減少	DI
23/11	3.2	-31.3	-28.1
12	4.7	-30.0	-25.3
24/1	2.0	-19.5	-17.5
2	0.7	-18.2	-17.5
3	2.4	-17.9	-15.5
4	2.5	-24.1	-21.6
5	0.0	-16.7	-16.7
6	2.7	-18.5	-15.8
7	1.3	-20.7	-19.4
8	0.7	-22.3	-21.6
9	2.1	-23.7	-21.6
10	1.4	-23.7	-22.3
11	1.4	-22.3	-20.9

(年月)

業界の業況

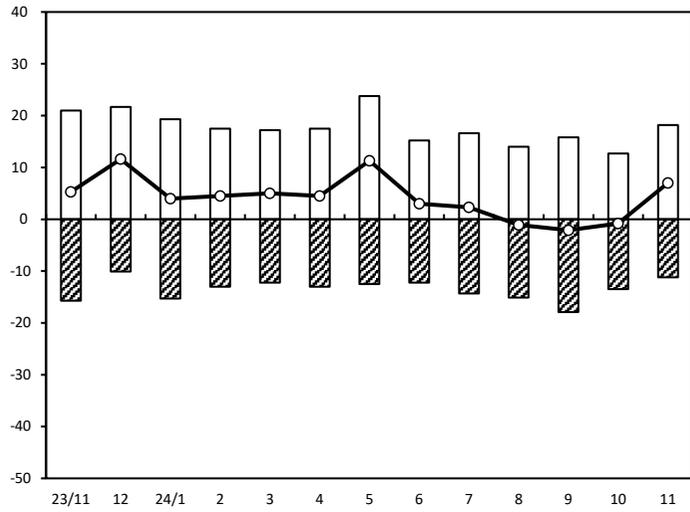


年/月	増加	減少	DI
23/11	4.4	-21.0	-16.6
12	4.7	-22.8	-18.1
24/1	3.9	-14.3	-10.4
2	3.9	-11.7	-7.8
3	3.6	-18.5	-14.9
4	1.3	-21.7	-20.4
5	0.0	-21.5	-21.5
6	0.0	-18.5	-18.5
7	2.5	-23.2	-20.7
8	2.1	-20.3	-18.2
9	3.5	-20.9	-17.4
10	0.7	-23.0	-22.3
11	1.4	-21.6	-20.2

(年月)

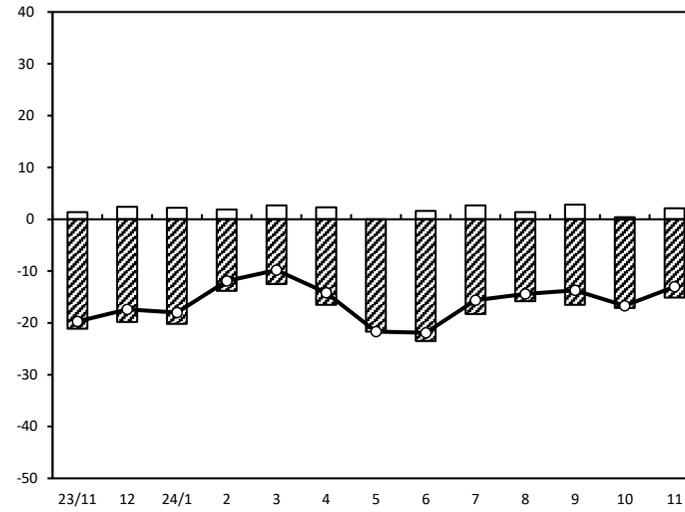
製造業【機械・金属】（前年同月比）

売上額



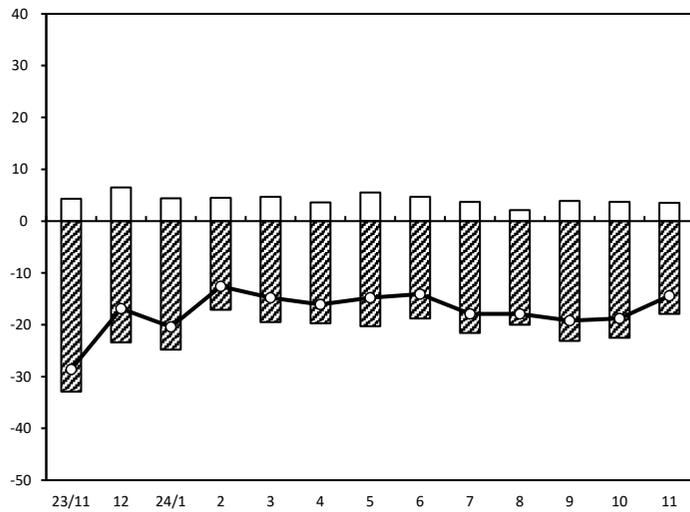
(年月)

資金繰り



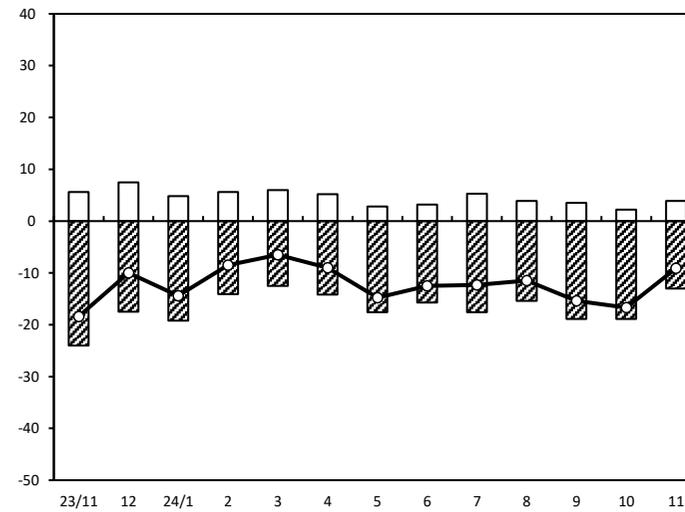
(年月)

採算



(年月)

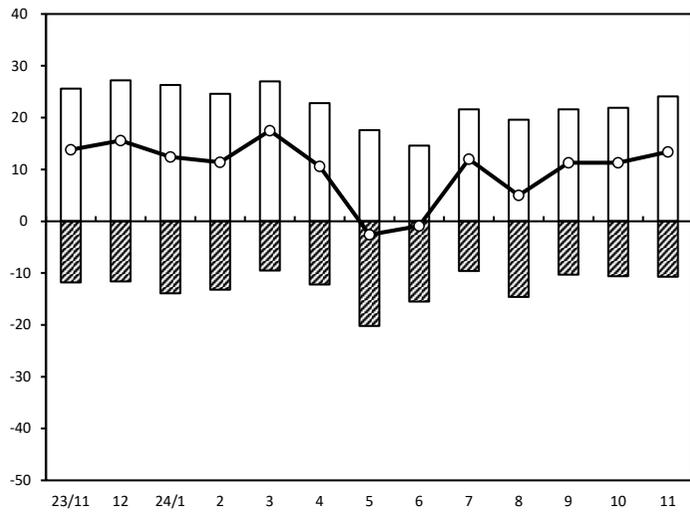
業界の業況



(年月)

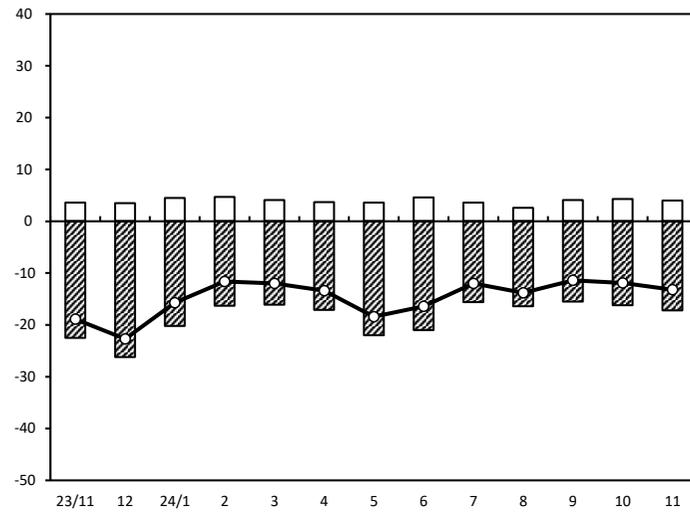
建設業(前年同月比)

売上額



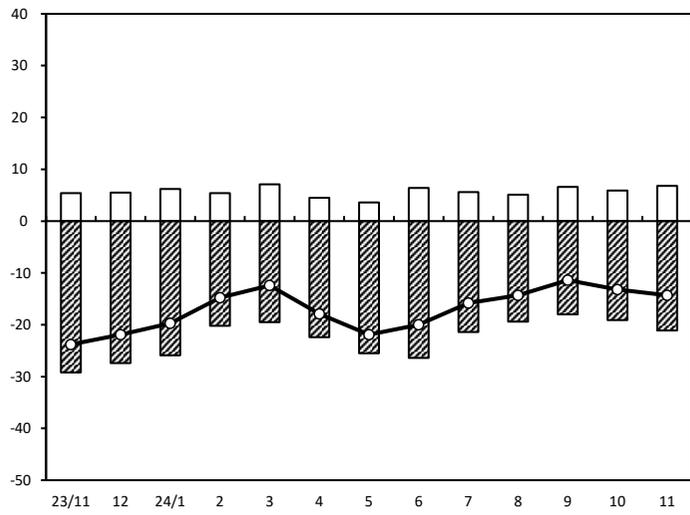
(年月)

資金繰り



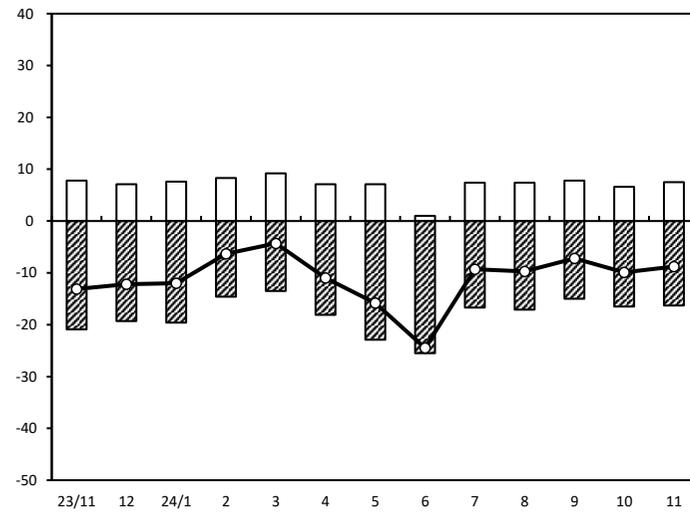
(年月)

採算



(年月)

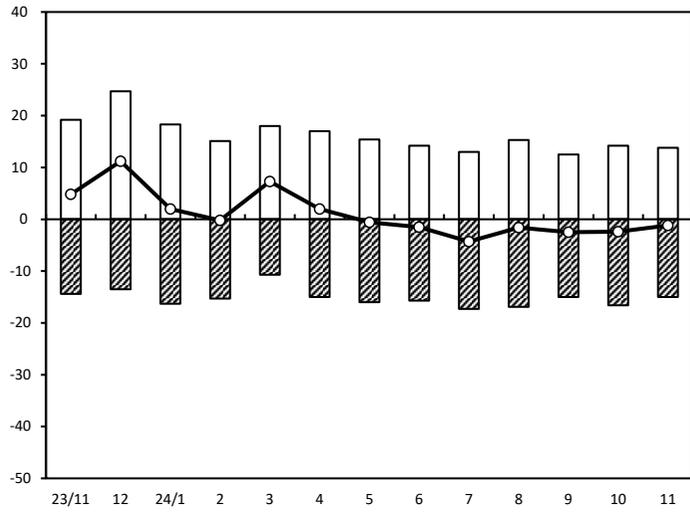
業界の業況



(年月)

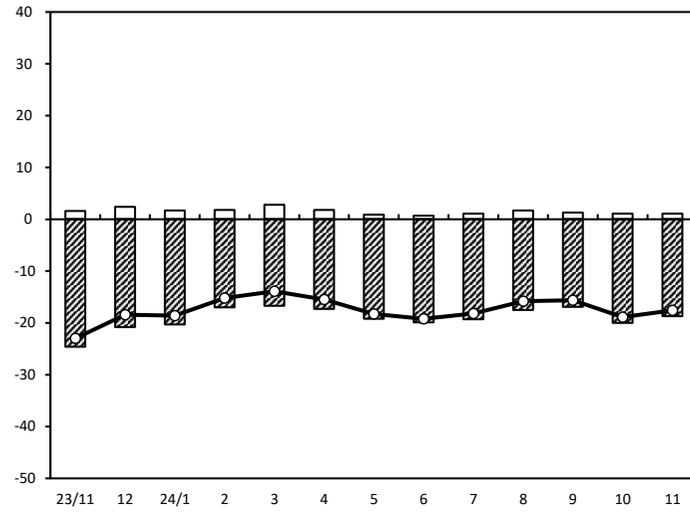
小 売 業(前年同月比)

売上額



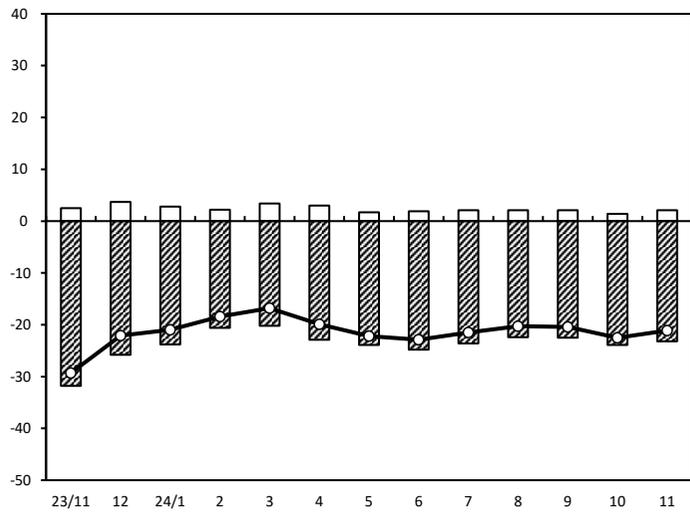
(年月)

資金繰り



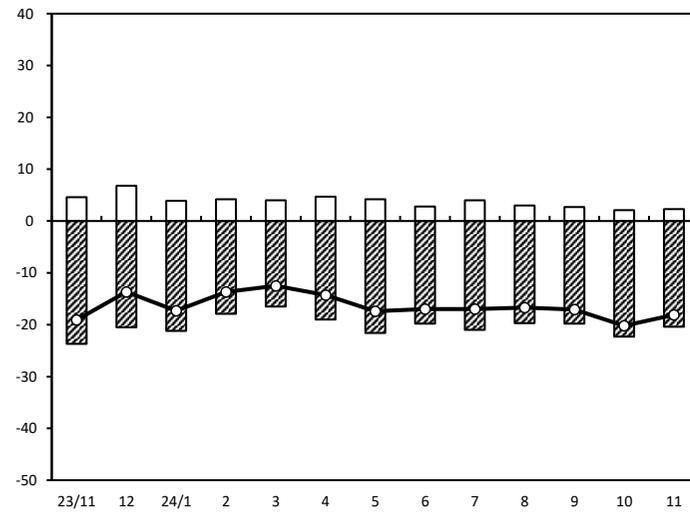
(年月)

採算



(年月)

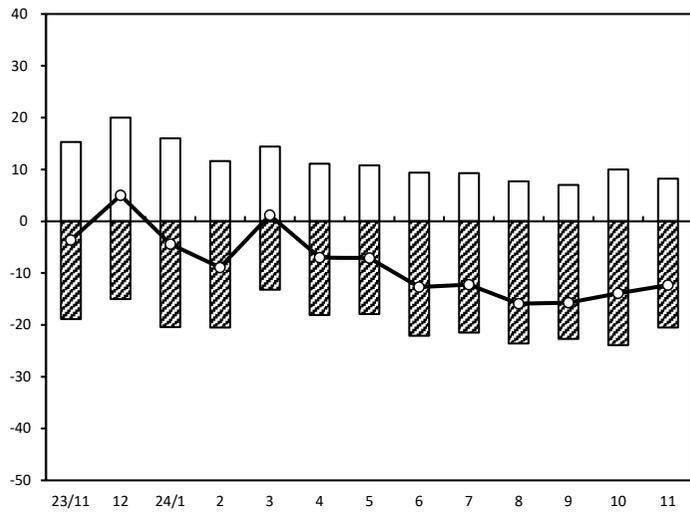
業界の業況



(年月)

小売業【衣料品】（前年同月比）

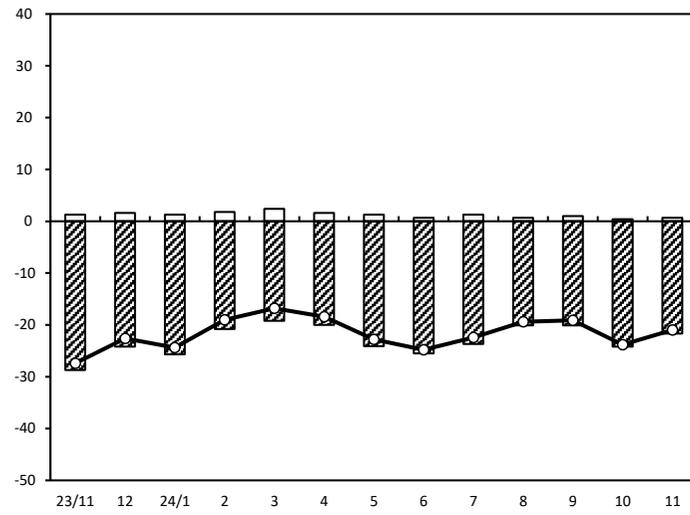
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/11	15.3	-18.9	-3.6
12	20.0	-15.0	5.0
24/1	16.0	-20.4	-4.4
2	11.6	-20.5	-8.9
3	14.4	-13.2	1.2
4	11.1	-18.1	-7.0
5	10.8	-17.9	-7.1
6	9.4	-22.1	-12.7
7	9.3	-21.5	-12.2
8	7.7	-23.6	-15.9
9	7.0	-22.7	-15.7
10	10.0	-23.9	-13.9
11	8.2	-20.5	-12.3

(年月)

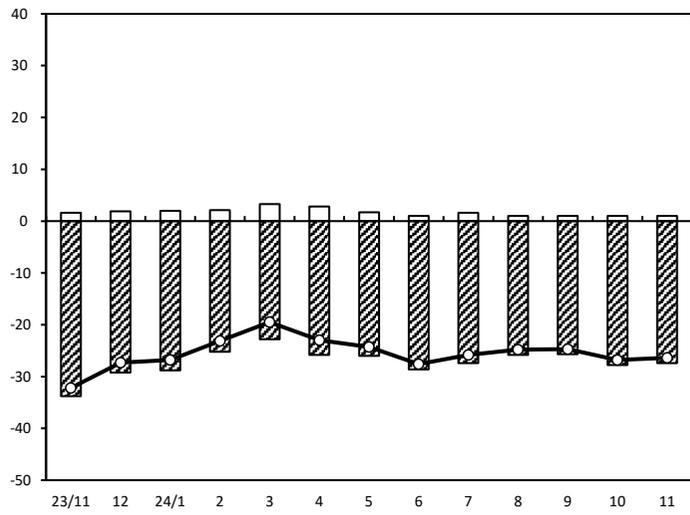
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/11	1.3	-28.7	-27.4
12	1.6	-24.2	-22.6
24/1	1.3	-25.7	-24.4
2	1.8	-20.8	-19.0
3	2.4	-19.2	-16.8
4	1.6	-20.0	-18.4
5	1.3	-24.1	-22.8
6	0.7	-25.5	-24.8
7	1.3	-23.7	-22.4
8	0.7	-20.1	-19.4
9	1.0	-20.1	-19.1
10	0.4	-24.2	-23.8
11	0.7	-21.7	-21.0

(年月)

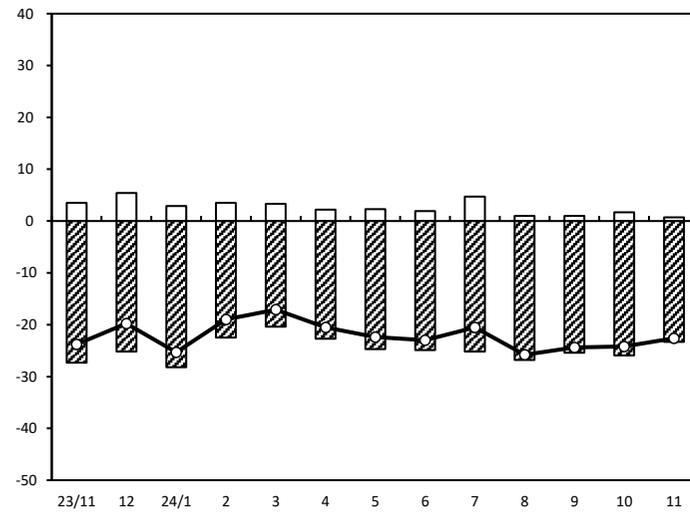
採算



年/月	増加	減少	DI
23/11	1.6	-33.8	-32.2
12	1.9	-29.2	-27.3
24/1	2.0	-28.8	-26.8
2	2.1	-25.2	-23.1
3	3.3	-22.8	-19.5
4	2.8	-25.8	-23.0
5	1.7	-26.0	-24.3
6	1.0	-28.6	-27.6
7	1.6	-27.4	-25.8
8	1.0	-25.8	-24.8
9	1.0	-25.7	-24.7
10	1.0	-27.8	-26.8
11	1.0	-27.4	-26.4

(年月)

業界の業況

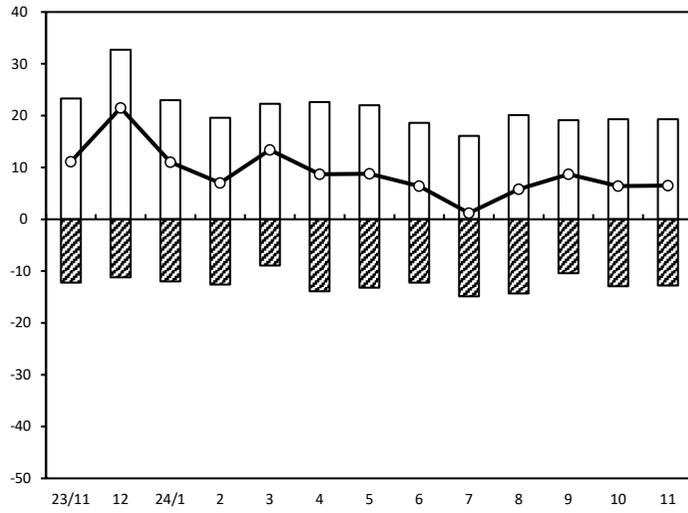


年/月	増加	減少	DI
23/11	3.5	-27.3	-23.8
12	5.4	-25.2	-19.8
24/1	2.9	-28.2	-25.3
2	3.5	-22.5	-19.0
3	3.3	-20.4	-17.1
4	2.2	-22.7	-20.5
5	2.3	-24.7	-22.4
6	1.9	-24.9	-23.0
7	4.7	-25.2	-20.5
8	1.0	-26.8	-25.8
9	1.0	-25.4	-24.4
10	1.7	-25.9	-24.2
11	0.7	-23.3	-22.6

(年月)

小売業【食料品】（前年同月比）

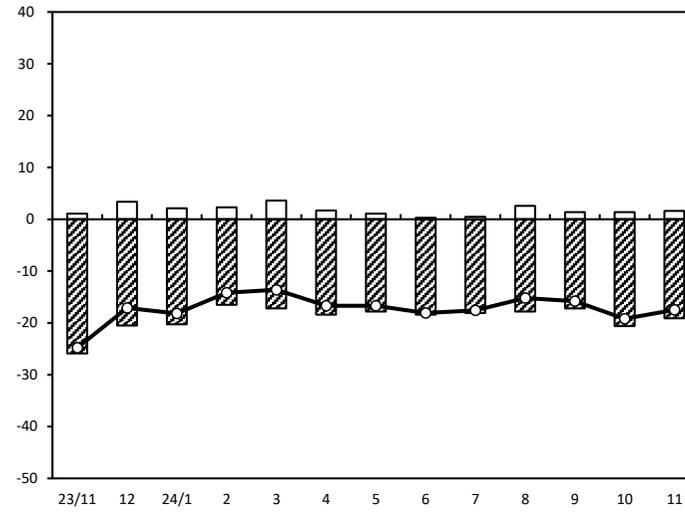
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/11	23.3	-12.2	11.1
12	32.7	-11.2	21.5
24/1	23.0	-12.0	11.0
2	19.6	-12.6	7.0
3	22.3	-8.9	13.4
4	22.6	-13.9	8.7
5	22.0	-13.2	8.8
6	18.6	-12.2	6.4
7	16.1	-14.9	1.2
8	20.1	-14.3	5.8
9	19.1	-10.4	8.7
10	19.3	-12.9	6.4
11	19.3	-12.8	6.5

(年月)

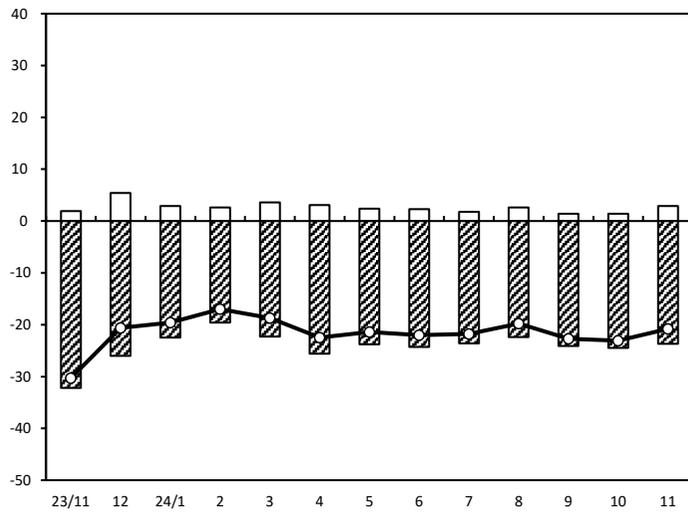
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/11	1.1	-25.9	-24.8
12	3.4	-20.5	-17.1
24/1	2.1	-20.3	-18.2
2	2.3	-16.5	-14.2
3	3.6	-17.2	-13.6
4	1.7	-18.4	-16.7
5	1.1	-17.8	-16.7
6	0.3	-18.4	-18.1
7	0.5	-18.1	-17.6
8	2.6	-17.8	-15.2
9	1.4	-17.2	-15.8
10	1.4	-20.6	-19.2
11	1.6	-19.1	-17.5

(年月)

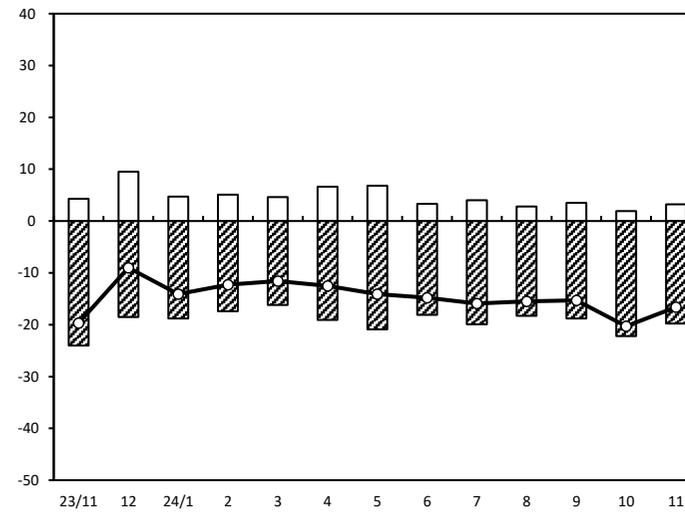
採算



年/月	増加	減少	DI
23/11	1.9	-32.2	-30.3
12	5.4	-26.0	-20.6
24/1	2.9	-22.5	-19.6
2	2.6	-19.6	-17.0
3	3.6	-22.3	-18.7
4	3.1	-25.6	-22.5
5	2.4	-23.8	-21.4
6	2.3	-24.3	-22.0
7	1.8	-23.6	-21.8
8	2.6	-22.4	-19.8
9	1.4	-24.1	-22.7
10	1.4	-24.5	-23.1
11	2.9	-23.7	-20.8

(年月)

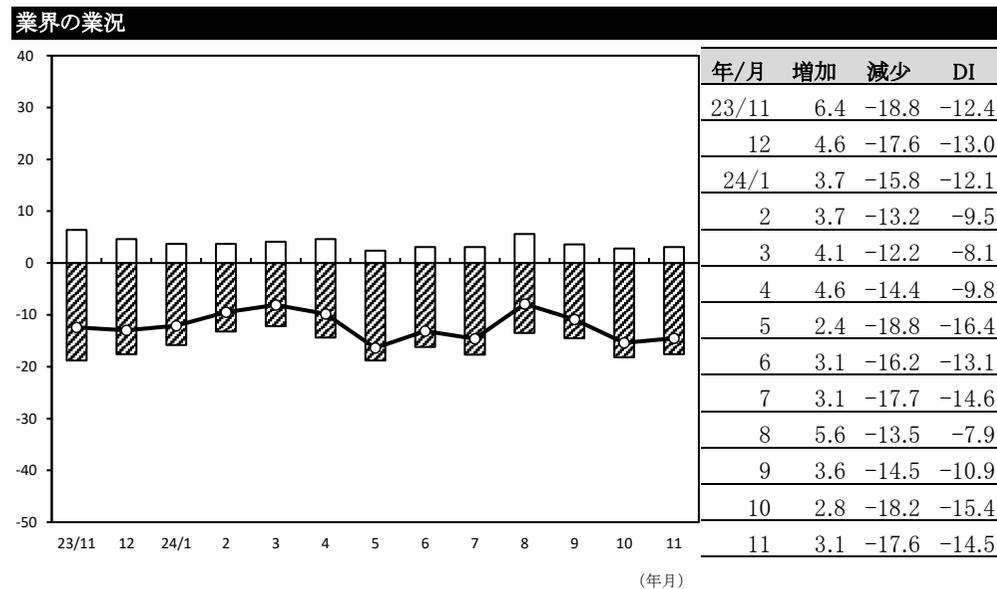
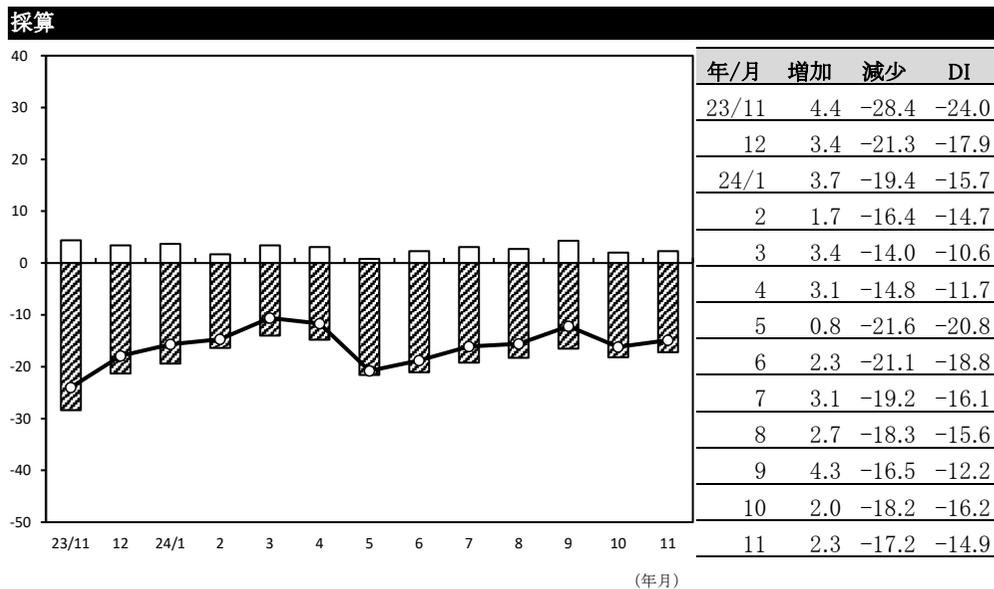
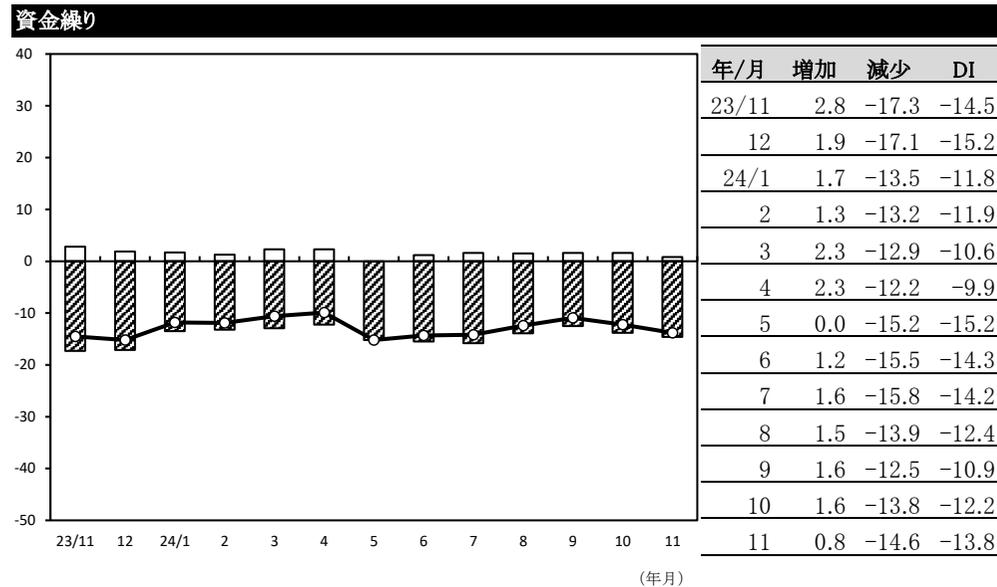
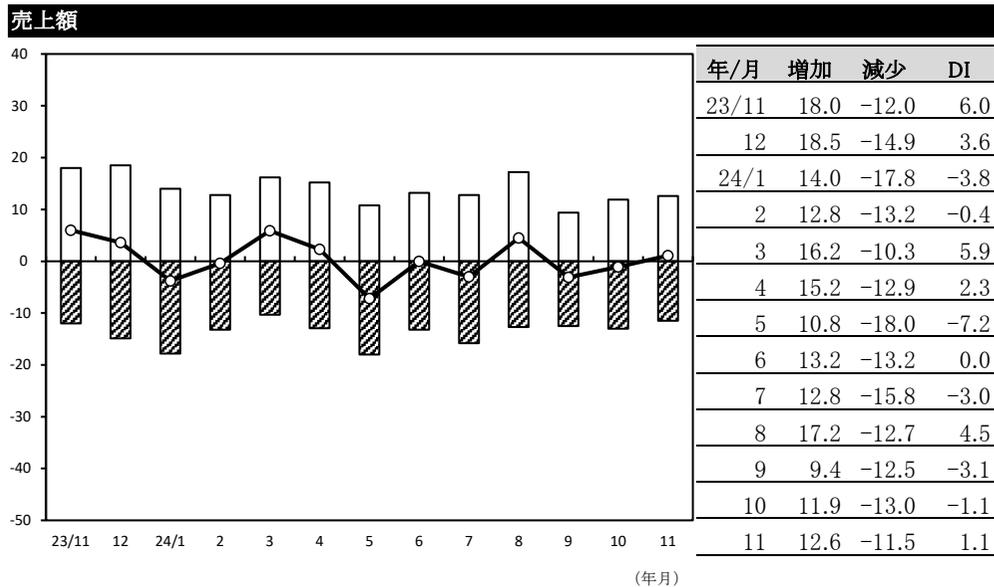
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
23/11	4.3	-24.0	-19.7
12	9.5	-18.5	-9.0
24/1	4.7	-18.8	-14.1
2	5.1	-17.4	-12.3
3	4.6	-16.2	-11.6
4	6.6	-19.1	-12.5
5	6.8	-20.9	-14.1
6	3.3	-18.1	-14.8
7	4.0	-19.9	-15.9
8	2.8	-18.3	-15.5
9	3.5	-18.8	-15.3
10	1.9	-22.2	-20.3
11	3.2	-19.8	-16.6

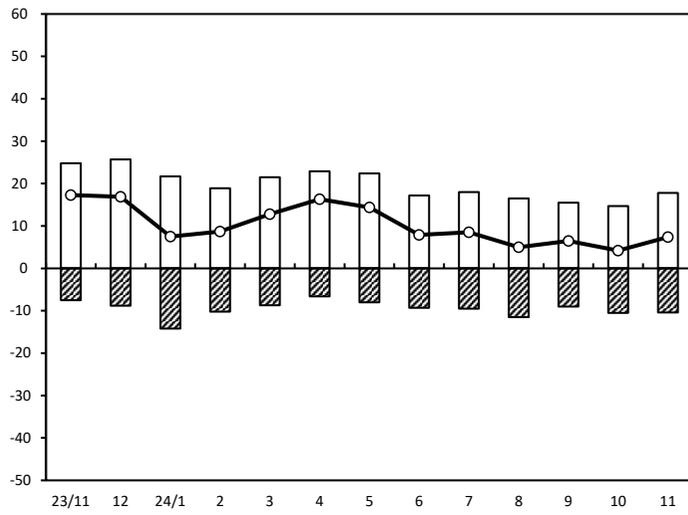
(年月)

小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）



サービス業(前年同月比)

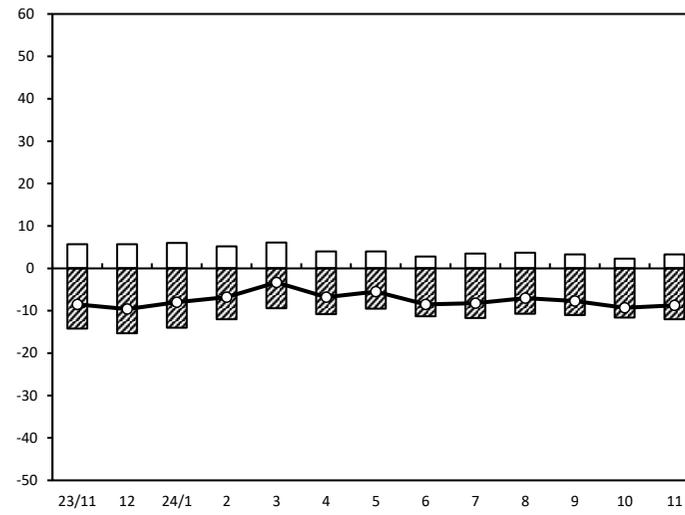
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/11	24.8	-7.5	17.3
12	25.7	-8.8	16.9
24/1	21.7	-14.2	7.5
2	18.9	-10.2	8.7
3	21.5	-8.7	12.8
4	22.9	-6.6	16.3
5	22.4	-8.0	14.4
6	17.2	-9.3	7.9
7	18.0	-9.5	8.5
8	16.5	-11.5	5.0
9	15.5	-9.0	6.5
10	14.7	-10.5	4.2
11	17.8	-10.4	7.4

(年月)

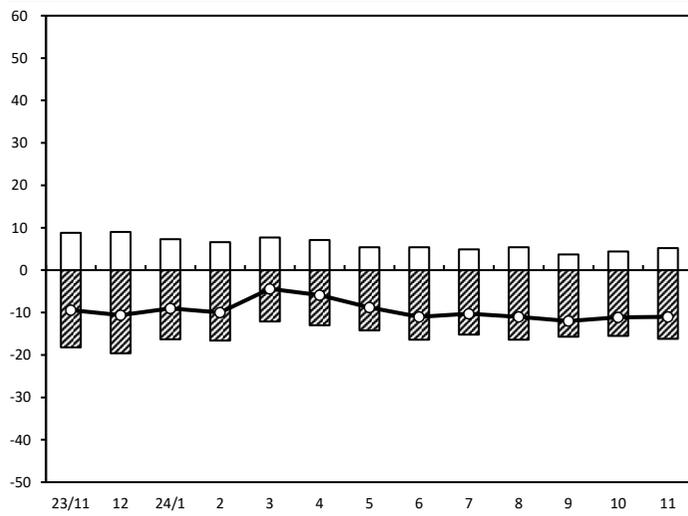
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/11	5.7	-14.2	-8.5
12	5.7	-15.3	-9.6
24/1	6.0	-14.0	-8.0
2	5.2	-12.0	-6.8
3	6.1	-9.4	-3.3
4	4.0	-10.8	-6.8
5	4.0	-9.5	-5.5
6	2.8	-11.3	-8.5
7	3.5	-11.7	-8.2
8	3.7	-10.7	-7.0
9	3.3	-11.0	-7.7
10	2.3	-11.6	-9.3
11	3.3	-12.0	-8.7

(年月)

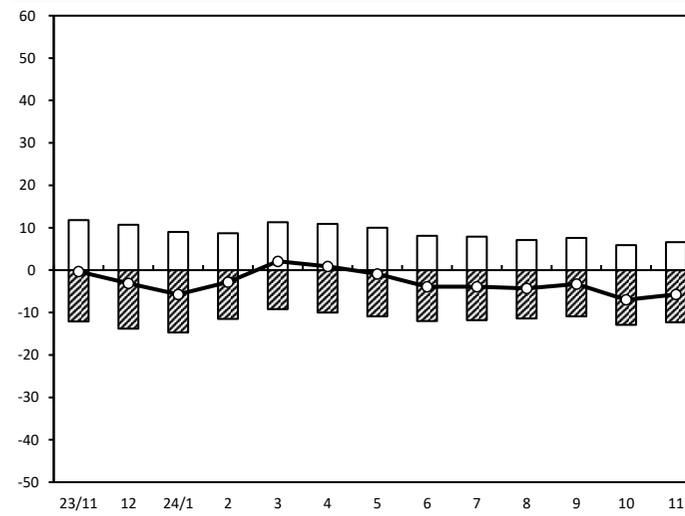
採算



年/月	増加	減少	DI
23/11	8.8	-18.2	-9.4
12	9.0	-19.6	-10.6
24/1	7.3	-16.3	-9.0
2	6.6	-16.6	-10.0
3	7.7	-12.1	-4.4
4	7.1	-13.0	-5.9
5	5.4	-14.2	-8.8
6	5.4	-16.4	-11.0
7	4.9	-15.2	-10.3
8	5.4	-16.4	-11.0
9	3.7	-15.7	-12.0
10	4.4	-15.5	-11.1
11	5.2	-16.2	-11.0

(年月)

業界の業況

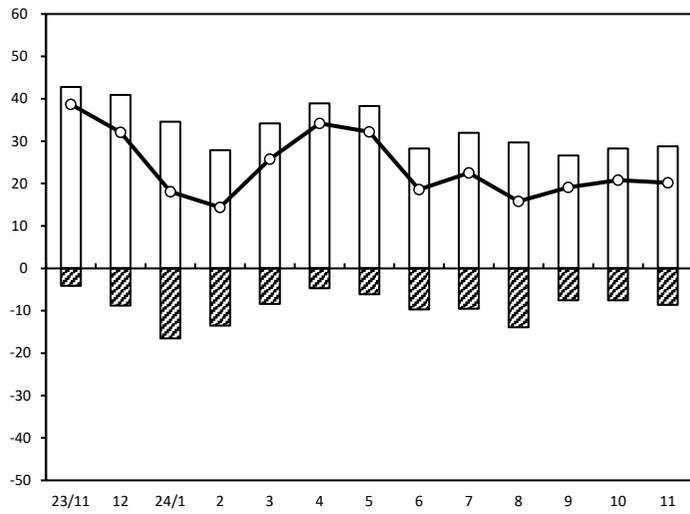


年/月	増加	減少	DI
23/11	11.8	-12.1	-0.3
12	10.7	-13.8	-3.1
24/1	9.0	-14.7	-5.7
2	8.7	-11.5	-2.8
3	11.3	-9.2	2.1
4	10.9	-10.0	0.9
5	10.0	-10.9	-0.9
6	8.1	-12.0	-3.9
7	7.9	-11.8	-3.9
8	7.1	-11.4	-4.3
9	7.6	-10.9	-3.3
10	5.9	-12.9	-7.0
11	6.6	-12.3	-5.7

(年月)

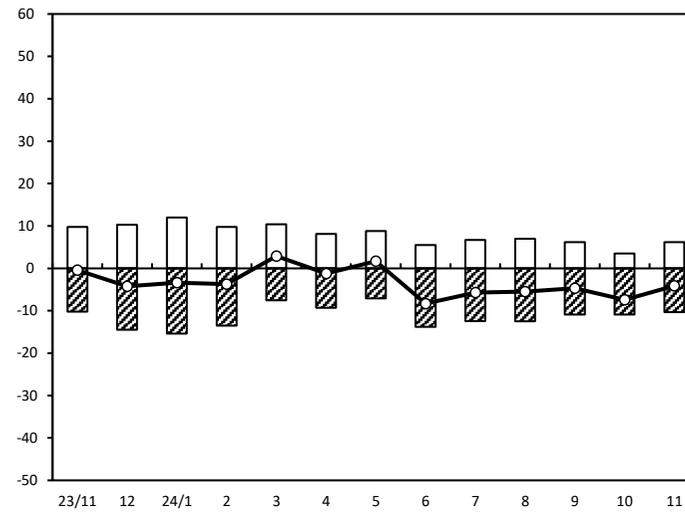
サービス業【旅館】（前年同月比）

売上額



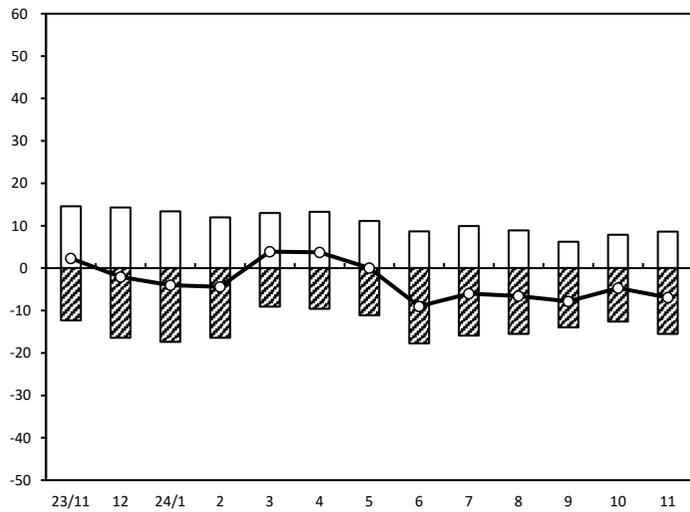
(年月)

資金繰り



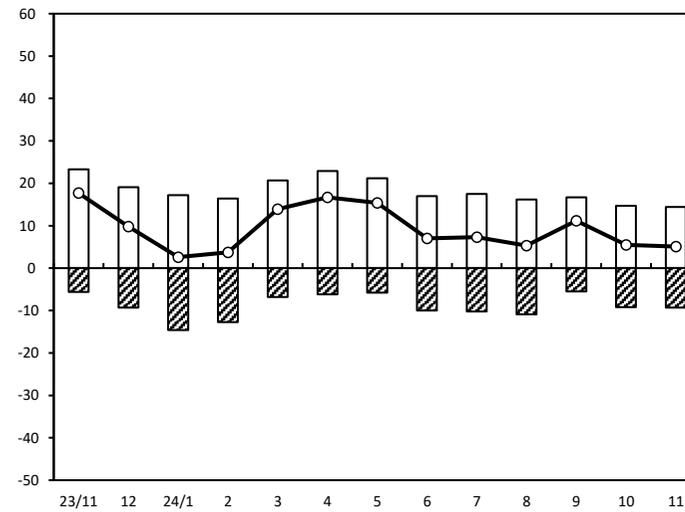
(年月)

採算



(年月)

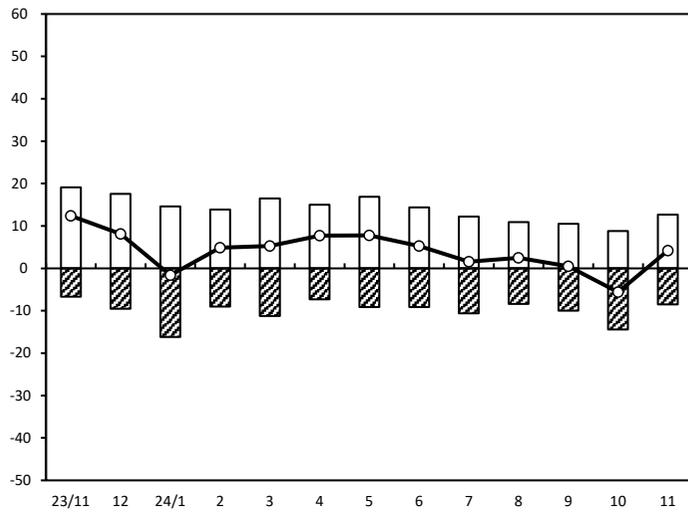
業界の業況



(年月)

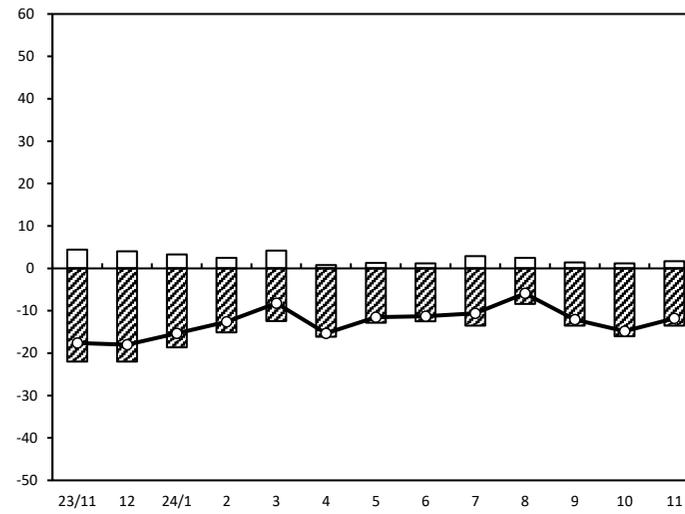
サービス業【クリーニング】（前年同月比）

売上額



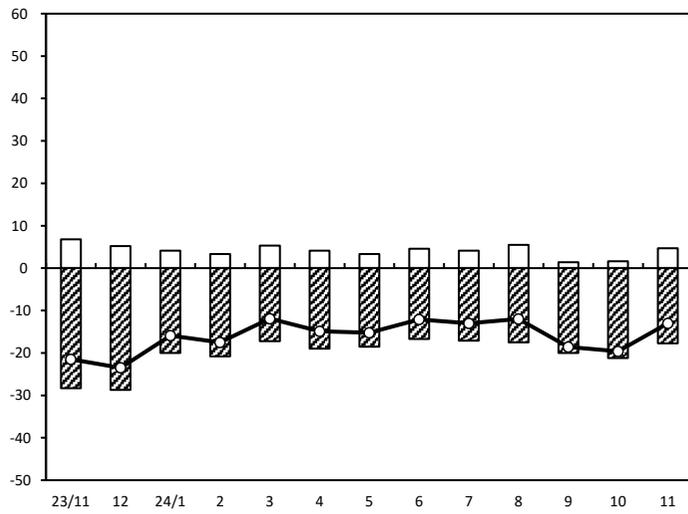
(年月)

資金繰り



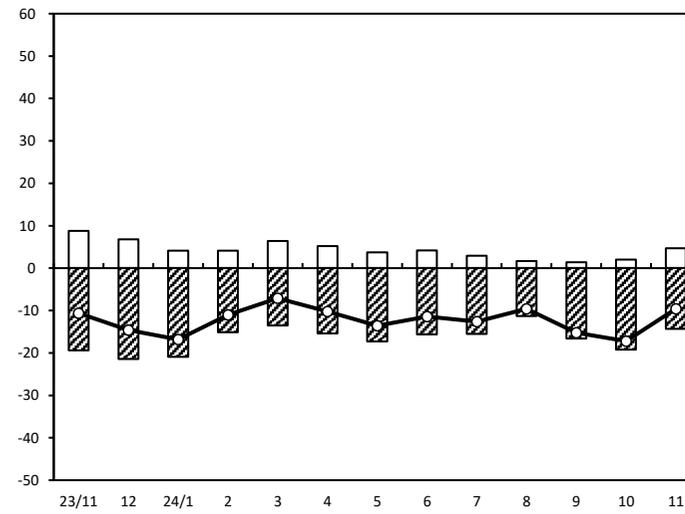
(年月)

採算



(年月)

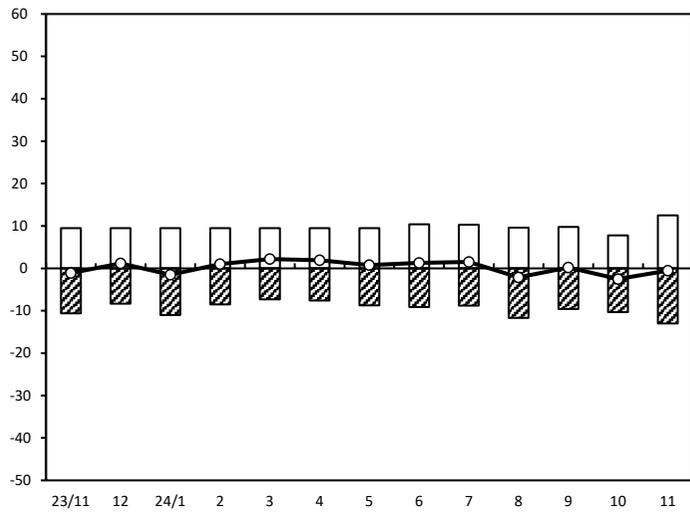
業界の業況



(年月)

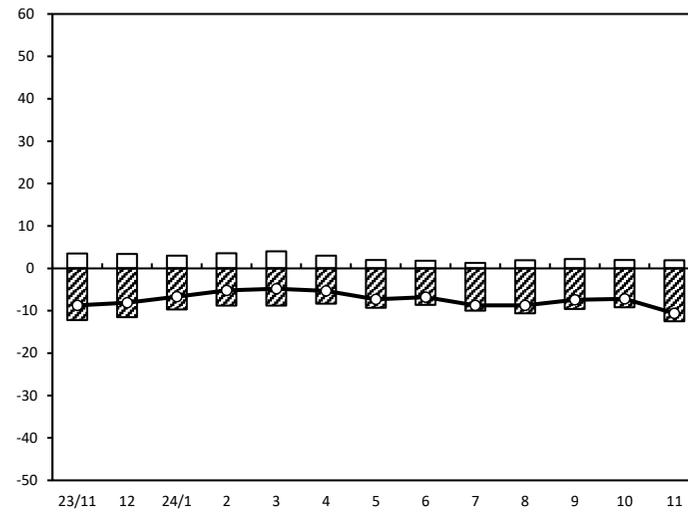
サービス業【理・美容】（前年同月比）

売上額



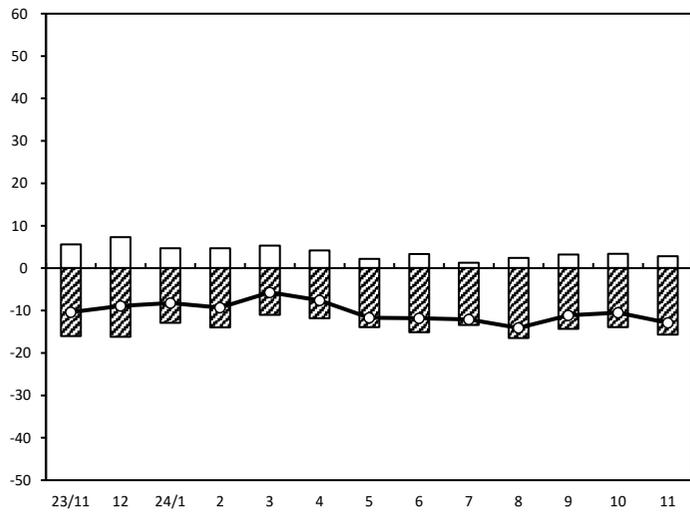
(年月)

資金繰り



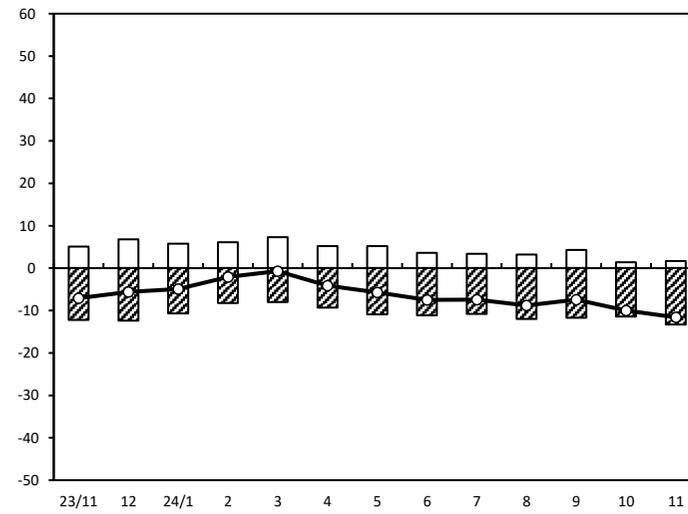
(年月)

採算



(年月)

業界の業況



(年月)

小規模企業景気動向調査(11月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

全体的に今期は好況な業種が多かった。特に建設業は好況である声が多く、職人不足が不安視される中、賃上げによって従業員確保を図っている。注視が必要なのは、海外取引のある業種であり、情勢次第ではどちらに転ぶかわからない状況である。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

商店街に仮設商店街がオープンし、再開を心待ちにしていた常連客ら地域住民が訪れ、賑わいが少しずつ戻り始めている。出店者の中でも特に飲食店は賑わいを見せている。景気に対する地震の影響は残るものの、復旧・復興需要等により徐々にではあるが持ち直しているように感じる。

(石川県門前町商工会)

観光客の増加により地域全体に活気がある。売上は増加しているが、仕入単価の上昇により収益は比例しているといえない。

(広島県宮島町商工会)

町内イベントが多くあったため、商店街はにぎわいがあり、関係業者に関しては売上の増加につながっている。

(高知県四万十町商工会)

年末にかけて需要回復の空気感はあるように思われる。従業員を雇用している事業所においては、大幅な最低賃金引上げに伴う経費増に対する支援を求める声が多い。

(徳島県上板町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

全般的に前年並みか、微増。業種にかかわらず仕入れ単価、経費増となっている。降雪が比較的遅かったため区内流通障害は無いものの、ガソリン、灯油などの高止まりから経費は前年比増となっており利益は下がっている感がある。

(北海道小平町商工会)

依然として材料費等の値上げにより、価格を上げたとしても利益率は低いままであり、採算が取れないことに加え、資金繰りが厳しい状態にあり、我々支援機関については本格的な適正価格の設定の仕方等の支援が必要であると考えている。

(福島県保原町商工会)

11月の電気・ガスの値上げに伴う水道光熱費の負担が増しており、地域の小規模事業者にとっては、一層経営状況が悪化している印象である。価格転嫁は必ずしもうまくいっておらず、事業継続が厳しい事業者も散見される。

(栃木県壬生町商工会)

従業員の新規採用や賃上げに関する事、価格転嫁ができていないといった相談が増えており、適宜必要な情報や支援策を提供しているが、課題解決に取り組もうとする小規模事業者は限られている印象がある。前向きな事業者を増やしていき、伴走型支援でフォローアップするよう対応していきたい。

(富山県富山市北商工会)

若手の後継者や事業者が中心となり、消費喚起を目的としたイベントを打ち出すなど、これまで行政や商工会に頼ってきた本地域の中で良い流れが生まれている。しかしながら物価高騰による経費圧迫、人手不足等の問題は多い。

(静岡県川根本町商工会)

特定の取引先と継続した取引を行っている事業者では、下請け法改正により価格交渉がしやすくなり、一部では収益性が改善しているものの、取引の大半が都度注文を受けている事業者で、単純作業における製品では、品質などの差がでにくく価格競争となり、収益性が改善されにくい状況になっている。

(京都府福知山市商工会)

建設業は年末にかけて忙しさが増しているものの、小売業・サービス業はインバウンド需要が落ち着き、一般消費者の買い控えに苦しんでいることが見受けられる。

(広島県五日市商工会)

どの業種も原材料価格高騰の影響が続いている。管内においては、インターチェンジの完成、駐屯地の建設と明るい話題もある。一方で、今年度管内で開催された国スポによる恩恵が想定より少なかった。スポーツ選手は夜出歩かないことや、交通規制の影響で飲食店や代行業者にとってはかなりの痛手であり、まだ尾を引いているとの声もあった。また、人手不足が原因により事業拡大ができないところが増えている。人手不足解消のために賃金など職場環境を見直す事業所が増えてきたが、やはり改善には資金が必要なため生産性向上が急務である。

(佐賀県佐賀市南商工会)

物価高騰及び人材不足が経営に影響を与えている。また、一部からはゼロゼロ融資の返済が始まったことによる資金繰りへの懸念があがった。

(宮崎県国富町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

食品製造業では、米価格の高止まりが続くものの、冬季向け商品の需要増加が業績を下支えています。繊維工業では、冬物商品の販売がピークを迎え、在庫が順調に消化されつつあります。機械金属製造業は、電気自動車関連を中心とした国内外の需要が引き続き堅調で、受注増に伴う生産能力拡大が進行しています。全体的には、製造業全般でコスト増の課題は残るものの、需要の底堅さと新規投資の動きにより、景況感はやや改善の傾向を維持しています。

(茨城県稲敷市商工会)

木曾地域特産の無塩漬物「すんき」は、秋が暖かかったため漬け込みが遅れていたが、11月終わりになって店頭に並び始めた。製造する事業者が7社あり、地域外からも問い合わせがあるため、売上の増加が期待されている。

(長野県木曾町商工会)

食料品では、売上利益ともにコロナ前の水準を超えている。人手不足のため注文を断る場合もある。繊維工業では、改善してきているが依然として安価な量販店に押されている状況。機械金属製造業では、受注が好調で、人手不足も解消したため順調に推移。6月までは好調が継続予定。

(鳥取県大山町商工会)

食品製造業においては、11月は行楽シーズンであったことと、県が主催するイベントの期間も重なり、土産物の受注が多かった。一方で、原材料高騰の影響が大きく響き、大きな利益増加までには至らなかった。

(岡山県真庭商工会)

建設業の動きが活発になっていることから、鉄工業の受注件数が増加している。金物資材の価格も高騰していることから想定よりも利幅が少ないものの、採算としてはやや好転傾向にある。

(鹿児島県知名町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

【食料品製造業】物価高に伴い従業員の給与も上げていかなければならないが、11月分からの値上げにもう少しプラスして資金をプールしておかなければ、先が暗そうで怖い。にんにくを県産に切替え、販売力UPに繋げたい。【繊維工業】毎年この時期になると従業員による年収の調整で休まれる事が多くなり、生産性が低下する状況になる。最低賃金の上昇により、ますます傾向が強くなると思われる。

(秋田県よこて市商工会)

金属加工業において、値上げ交渉を2回実施済みであり対応いただいているが、まだまだ利益率の改善にはいたっておらず、さらなる値上げを行いたい、頻度も考えて様子見をしている。

(東京都日の出町商工会)

繊維工業は中国などの海外依存に対抗することは不可能であるため、自社が独自に新製品開発やブランディングに取り組んでいる企業が残っていている。結果的に採算や資金繰りが不変である事業所は企業努力の賜物であると思われる。

(岐阜県笠松町商工会)

原材料原価や包装資材・運搬費などの支出が依然として上昇傾向にある一方、商品価格に転嫁対応はしているものの、なかなか支出の上昇比率に対して商品価格転嫁が間に合っていない状況である。

(愛知県武豊町商工会)

食料品製造業は、値上げを行って以降、買い控えもなく見込み通りの販売が出来た事業所も見られる。繊維工業製造業は、従業者4人以上の事業所数/就業者数とも減少傾向であり、従業員確保に苦慮している。機械・金属製造業は、原材料価格の高騰・人手不足が継続的な問題である。

(鳥取県北栄町商工会)

このところ、いずれの業種も横ばいに推移している。人手不足が慢性的であり、デジタル化や脱炭素などの課題に時間を割くことが難しい。

(山口県山口県央商工会 秋穂支所)

どの業種でもそうだが、原材料にかかわる仕入や消耗品などの価格が上がり続けており、かつ売り上げはそれほど上昇していない為、この地区ではやや悪化しているのが現状である。

(福岡県若宮商工会)

繊維工業関連の事業者は、物価高の影響により趣向品である業界の商品は買い控えの対象となり、売上は減少傾向にある。

(熊本県阿蘇市商工会)

原材料等の値上げによる仕入れ単価の上昇は見られるものの、概ね価格に転嫁できているため採算性に大きな変化はない。しかし、食料品製造業など観光の動向に左右される事業所において、観光の減少から若干売り上げの減少が見られる。

(鹿児島県あまみ商工会)

食料品製造業関連の事業者は、仕入単価上昇のため、資金繰りが悪化している状況になっている。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

建設業関連は、年末工事関係等で受注量は増加傾向。従事者の人手不足は続いている。

(群馬県みどり市商工会)

宿泊施設改修及び震災の復旧工事や民泊営業増の為のリノベーション工事が増加しており、元請の受注件数が増加している。付随して下請となる各種工事業も活性化している為、島内建設業に関しては好調と言える。

(新潟県両津商工会)

他の業種に比べれば、仕入価格や経費の上昇分を転嫁できていると言え、全体的に仕事量も依然として多い印象で堅調に見える。

(静岡県沼津市商工会)

町発行の商品券を利用した受注が増加しており、売り上げは伸びているが換金までのタイムラグがあるため資金繰りについては少し悪化している状況である。

(京都府与謝野町商工会)

建設業は受注、完成工事高も良好であり、業況も好転しつつあるが、材料仕入の高騰により採算性については大きな変化がない。

(長崎県対馬市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

便器や給湯器等、日々物価が高騰しているため、お客様に見せるカタログの値段の変化が早く追いつかない。当初のカタログ記載の値段から2~3割増しで請求することになるので、やむを得ずお客様に頭を下げて請求している。

(岩手県紫波町商工会)

昨年は新築工事の受注により冬季間にも仕事があったが、今年はその予定もない。物価高騰の折り、新築購買層と言われる40代までの住宅購買意欲が高まる程の収入増はまだ見込めていないと感じる。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

一般住宅関連の建築関連業者は、引き合いが少なく大変厳しい。未だに価格競争となってしまう、相見積りの場合、安価な他社にとられてしまう傾向にある。

(栃木県うつのみや市商工会)

建築業では、資材高騰により新築住宅の受注が減少している。更に大手ハウスメーカーの営業により、地域工務店は顧客を獲得できない状況にある。新築から既存客のリフォームへ切り替え対応している。

(群馬県しづかわ商工会)

建築関連の事業者は、地域内の新築が少なく遠方の現場へ行くことが多いことからガソリン代等の増加から資金繰りがやや悪化している。また、公共土木工事関連の事業者は、大雨災害による山林の復興工事が落ち着いたことから売上が減少している。さらに公共工事の件数が今後先細るとの噂もあり、業界の業況は悪化傾向である。

(新潟県朝日商工会)

住宅関連の建設事業者は、一時の価格高騰と比べると落ち着いた感はあるが、引き続き高止まりで推移しているため、受注や引き合い件数は不変となっている。

(岐阜県恵那市恵南商工会)

仕入れ値が売上に反映されているため、売上は上がっているかのように見える。しかし、人手不足により工事日程の延長が響いていることから、採算や資金繰りが悪化しているように感じている。このままでは、経営が不安なため、従業員拡充や離職率低下に繋げる福利厚生の見直し等を検討している。

(三重県伊勢小俣町商工会)

土木建設関連事業者は、公共事業の減少により売上げが減少している。人件費の増加も採算を悪化させる原因となっている。

(兵庫県佐用町商工会)

電力関係の工事の受注は増加しているようであるが、表具関係・設備業などは事業主の高齢化もあり減少している。経費は増加しており採算・資金繰りで厳しい事業者もある。

(香川県高松市中央商工会)

建設業全般において、工事発注が減少傾向にある中、物価上昇による建設コストの増加が重なり、厳しい経営状況に直面している。また、受注状況によって人手不足感はあるものの、人件費の増加が負担となり、常時雇用には踏み切りにくい状況が続いている。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

原材料価格上昇がつづく。契約金額から材料コスト、人件費コストが上昇、人手不足による工期の遅延などコストは増加する傾向で、請負金額の見直しも思うようになされず利益圧迫する状況。

(鹿児島県鶴の町商工会 野田支所)

資材仕入れ及び賃金引上げや働き方改革による週休2日制を導入し、工期遅れなどが発生し、人件費高になり、利益率が低くなっている。

(沖縄県北中城村商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

観光シーズンであったため街中に賑わいがあり、好調であった。紅葉等は天気によって左右されてしまい、需要のタイミングが掴みにくく、早期に品物が売り切れるケースもあった。

(宮城県玉造商工会 鳴子事務所)

玩具小売業を営む、ある事業者は実店舗とECサイトでの販売を行っており、マニア向けの商品を販売することによって売上を伸ばしている。しかし、注文数が多く、商品を梱包し発送する業務の負担が大きい。従業員の雇用や業務効率化が必要な状況となっている。

(新潟県巻商工会)

衣料品は一般的に夏物より冬物のほうが単価が高く、11月は冬に備えた需要があったため売上はやや増加した。食料品小売業は菓子製造小売業において、行楽シーズンの恩恵を受けている。

(石川県鶴来商工会)

衣料品小売業では、11月中旬より急に季節が進んだことにより冬物が動き始め売り上げは増加傾向にある。しかし、経費の上昇により採算は前年と比較し悪化傾向にある。自動車販売業では、単価が上昇し、入荷に時間を要しているものの動きが出始めている。

(兵庫県丹波市商工会)

店舗の客入りも好調で、需要についてはいい状態にある企業が多い。一方で、原材料費、人件費ともに上昇しており、利益についてはやや下落も見られる。閑散期には特に固定費が上昇傾向のため影響が顕著で、対応に追われている。

(岡山県岡山北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

小規模衣料品店に関して、来客数が年々減少しており、厳しい状況が続いている。一方、地方での生活必需品である自動車関連においては変わらず好調となっている。

(宮城県栗原南部商工会)

中心市街地においてイベントを開催し、商店街の賑わい創出に向けた取組を実施したが、その効果は一過性のものであった。全体的に節約志向が高まっており、買い控えが見られるなど消費が低迷している状況にある。来月からの年末年始商戦に期待したい。

(福島県会津美里町商工会)

衣料品は急な気温の変化により若干の売り上げ増になったが、食料在庫不足や引き続きの円安による輸入食材等の調達コストの増加により、価格転嫁できていない企業は利益確保に苦慮している。

(東京都小金井市商工会)

地元住民を主な客層とする小売業は、高齢化、人口減少、大型店やネット販売への購買流出等により客数は減少しているが、仕入単価や経費の増加に伴う販売単価上昇により客単価が上昇しているため、売上は前年並みかやや増加している。家電小売業は、大型店等への購買流出が進んでおり、売上はやや減少している。観光客を主な客層とする小売業は、観光客の入込に比例して売上も前年並み。

(新潟県妙高市商工会)

衣料品…暖冬の影響もあり、出足が遅い、早目のバーゲンが必要。食品…継続的な値上げ、消費者の節約志向により売上額、収益悪化。耐久消費財…大きな変化はないが、自動車販売は比較的好調。

(石川県津幡町商工会)

衣料品小売関連の事業者は、仕入価格は上昇しているが、冬物の衣料品売上が増加してきたことにより一定の利益率は確保できている。

(福井県おおい町商工会)

価格転嫁ができていない。お客様に今までどおりの値段では提供できないことをお伝えするが、同額を希望されることが多く、内容を減らすことになるためみすぼらしくなり、印象も悪くなるので困っている。予約限定で販売してはいるが、材料は予約数ぴったりでは仕入できないため、無駄がでてしまう。利益も少ない。

(岐阜県川辺町商工会)

衣料品においては、11月に入って急に気温が下がり、これまで動かなかった冬物の衣料の売上が伸びた。仕入れ価格の上昇を販売価格に転嫁することが定着してきている。菓子製造小売業(ケーキ屋)においては、例年と異なる気候によってフルーツの価格が高騰している。価格転嫁による買上点数の減少が見られており、1年で最も忙しいクリスマス商戦の価格戦略に苦慮している。家電販売においては、猛暑によるエアコン需要の後、冷蔵庫や洗濯機などの家電製品は買い控えの影響を強く受け不調に陥っており、先行きを不安視する声が聞かれる。自動車販売は横ばいの状態が続いており現状維持である。

(鳥取県鳥取市西商工会)

売上は横ばいで推移しているが、物価高騰による仕入れコストの上昇が利益率を圧迫している。在庫管理や価格転嫁の工夫が求められる一方、顧客の購買意欲低下が見られ、販売促進の強化が必要である。厳しい経営環境が続く中、資金繰りへの注意が欠かせない。

(長崎県諫早市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

観光需要の増加により好調に稼働している。従業員満足度の向上のため、完全週休2日制に変更している旅館宿もある。犬連れ観光需要が好調で客単価が高めである。

(山形県南陽市商工会)

インバウンド需要の多様化により、観光施設だけではなく地元事業者を絡めたコンテンツの開発に関する相談が寄せられており、観光地でなくともビジネスチャンスが発生している。観光をメインとした地域では、アジア圏のツアー客の取り合いとなっており、一様にインバウンド需要を語れなくなっている。

(千葉県香取市商工会)

宿泊・飲食関係業種は、国・市等の旅行支援がないにもかかわらず、売上高は順調に推移している。ただ今後は、物価高に加え、団体旅行ブームの終焉や人手不足による稼働率の低下といった経営課題にどう対応していくかが課題である。

(新潟県寺泊町商工会)

宿泊関連事業者は、インバウンドなどの影響もありこの時期でも予約が入っており、多くの事業者で売上額が増加している状況である。また、12月早々にまとまった積雪があり、スキー場の営業開始が早まり今後期待が持てる。

(長野県小谷村商工会)

宿泊業については、食材を始めとした仕入、電気料など経費負担が引き続き大きい。売上に関してはOMM JAPAN 2024(オリジナル・マウンテン・マラソン)が町内で開催され宿泊利用が多かった。洗濯業も宿泊業同様。理美容業は大きな変動なし。

(静岡県河津町商工会)

クリーニングとコインランドリーを取り扱う洗濯業は、以前からの不採算店を閉店したことにより会社全体の売上高は減少したが、補助金や助成金を上手く活用して生産性機械を導入したことで利益高は回復している。新店舗オープンの話もあり、業況は上向き傾向となった。

(福岡県志免町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

宿泊事業者は、度重なる物価高の影響を受け、特に米の値上げ幅が大きく影響を受けており採算は悪化傾向。美容業は、価格改定により売上高は増加しているものの、仕入れや水道光熱費の支出が増え利益を圧迫。従業員を扱う美容室は賃金高騰の影響も大きい。

(宮城県東松島市商工会)

旅館・宿泊関連の事業者は種苗交換会による昼食利用等があり飲食は、通常時より増。洗濯業関連の事業者は景気は良くないと感じている。クリーニングするものが減ってきている。人件費の増加に伴って、扶養控除を受けるために、勤務時間の調整を希望されている。理美容業関連の事業者は例年の11月と同様。年末年始需要に期待する。

(秋田県かつの商工会)

「旅館・宿泊所」のうち観光地の温泉旅館については、紅葉シーズンの需要高まり等により業況改善傾向あり。一方で「洗濯業」「理美容業」は、エネルギー・物価高騰によるコスト増と、個人消費が大手等のより低価格でサービスを提供する方に流出する傾向が顕著になっており、業績悪化が続いている。

(群馬県嬬恋村商工会)

宿泊業は能登半島地震関連で復興関係者の利用がほぼなくなる(撤収及び被災地近くの宿泊業者が徐々に営業を再開しているため)反面、観光需要は未だ低調であり先月調査時同様に苦しい。

(石川県宝達志水町商工会)

温泉旅館では、例年閑散期となる月ではあるが、インバウンド客を受け入れしている事業者はインバウンド客の受け入れが堅調で稼働率が向上した。一方でインバウンド客を取り込んでいない事業者は稼働率が低下しているため2極化している。

(岐阜県高山北商工会)

洗濯業においては、例年、寒さが本格化する前に冬物を準備するため、コートなどの冬物衣料や毛布などの大物のクリーニング需要が増加し、売上高が増えている。しかし、光熱費や燃料価格の上昇により利益が圧迫され、昨年より採算は減退している。また、小規模事業者ゆえ、「足で稼ぐ」とも言える御用聞き営業スタイルで、洗濯物のご依頼の収集・配達を行っているため、ガソリン代の高騰が収益にじわじわと厳しい影響を与える。

(愛知県飛島村商工会)

一般旅客貸切バスでは、学校の遠足や修学旅行、部活動での利用が回復しつつあるが、燃料高騰などが利益を圧迫しており、遠距離輸送は回復は依然として道半ば。宿泊業では従業員の高齢化や慢性的な人手不足が課題となっており、労働力確保に苦慮している状況。

(島根県石中央商工会)

物価高騰と最低賃金上昇で経営が厳しくなっている。隣町の同業者の廃業により、新規顧客が増加した(洗濯業)。6月ごろから景況が悪い。仕入単価が上昇しているが、都市部のように値上げをすることが難しい(理美容業)。

(鹿児島県日置市商工会 日吉支所)